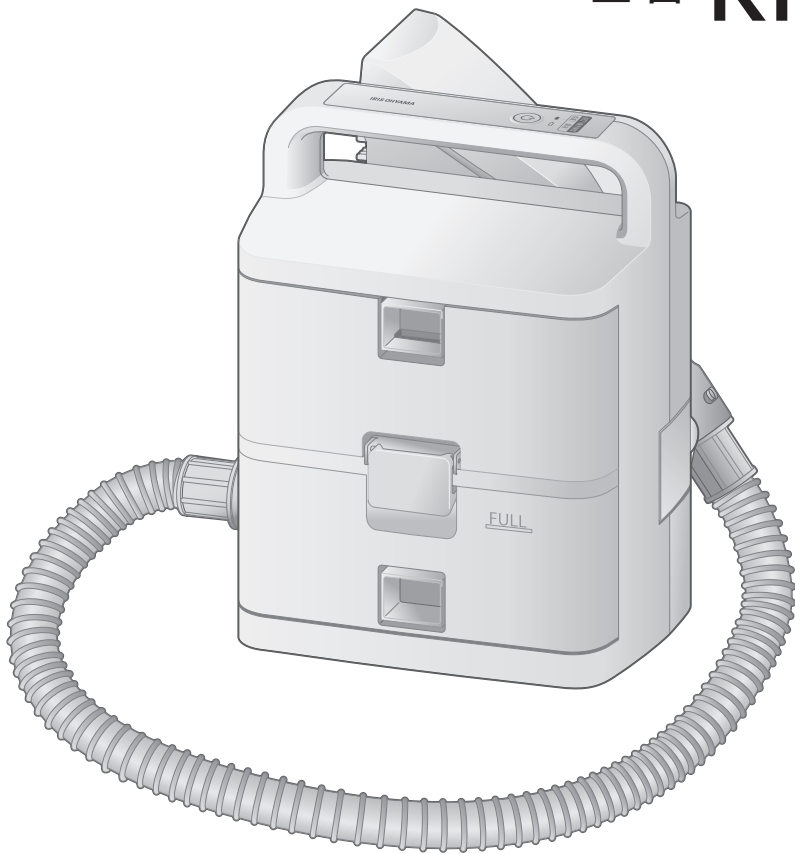


取扱説明書

コードレスリンサークリーナー

型番 RNSK-B400D



製品の使いかたはヘルプガイドでもご覧いただけます。
<https://www.irisohyama.co.jp/products/manual/html/200117/>



この商品は海外ではご使用になれません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■お客様へ

出荷前の検査を行っておりますので、本体およびタンクの内部に水が残っている場合があります。ご了承ください。

ご使用の前に

安全上の注意	3
使用上の注意	5
各部の名称.....	6
本体.....	6
操作パネル	7
付属品.....	7

取り扱いかた

準備する	8
使いかた	11
汚れのひどいときは	12
回収タンクの汚水を捨てる.....	13
清水タンクに残った水を捨てる	15
状態ランプについて	15

お手入れ

本体.....	16
回収タンク・バキュームホース.....	17
ハンドツール	17
ハンドツールのノズル	18
フィルター	18
流路の清掃について	18
保管について	19
バッテリーの交換のしかた.....	19

こんなときは

故障かな？と思ったら.....	20
操作パネルの点灯、点滅パターン	21

アフターサービスとその他の内容

仕様	22
別売品・消耗部品について.....	23
保証とアフターサービス	23
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。

バッテリーについての注意



- バッテリー交換するときは、説明書にしたがい正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
- 電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う
目に傷害が発生するおそれがあります。
洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。



分解禁止

- バッテリーは分解しない
発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。



- 指定以外のバッテリーは使用しない
- 指定以外の方法で充電しない
- 当社指定の機種以外に使用しない
- 高温になる場所・直射日光の当たる場所で充電しない
- バッテリーを火に投げ入れたり、加熱したりしない
- バッテリーを高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- バッテリーを水につけない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、充電アダプターをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 充電アダプターが異常に熱くなる→ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



水ぬれ禁止

- 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない
- 本体や充電アダプターを水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけたり、吸わせたりしない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど）、可燃性のものを吸わせない
- 油煙や湯気を吸わせない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
吸い込むと火災の原因になります。



充電アダプターは正しく使う



- 充電アダプターのプラグのほこりは定期的に取り除く
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 充電アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で充電アダプターの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 充電アダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。
- 乳幼児に充電アダプターをなめさせない
感電やけがの原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。

安全上の注意 つづき

- 感染症の疑いがある汚れやほこり、吐しゃ物などを吸引しない
感染症の原因になります。

- 回収タンクを取り付けずに運転しない
けがの原因になります。

バッテリーについての注意

- 電解液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける
引火するおそれがあります。
- 電解液が皮膚や衣服についたときは、すぐに洗い流す
皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。
- 電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しない
発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。
- バッテリーを交換するときは、乳幼児の手の届く所に置かない
感電やけがの原因になります。



注意

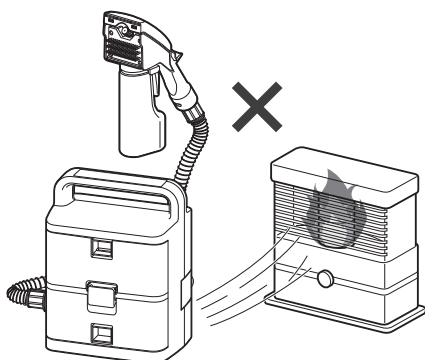
誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 掃除以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。
- 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。
業務など家庭用以外で使用すると、火災などの原因になります。

- 吸込口がふさがれたまま運転を続けない
- 排気口をふさがない
過熱による変形・故障・火災の原因になります。

- 火気・暖房器具などに近づけない
吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり
火災などの原因になります。

火気禁止



- 乗ったり、寄りかかったりしない
- 幼児の手の届く範囲では使用しない
- 子どもに遊ばせない
けがの原因になります。
- 屋外では使用しない
故障してショートや火災の原因になります。



プラグを抜く

- 充電アダプターを抜くときは、充電コードを持たずに必ず充電アダプター本体を持って引き抜く
充電コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ず充電アダプターをコンセントから抜く
火災・感電の原因になります。



- 長期保管時は、満充電にし、バッテリーを抜いてから保管する

使用上の注意

- 本製品はすすぎ洗いにより汚れを除去する商品です。清水タンクには40℃以下の水道水またはアルカリイオン水以外を投入しないでください。
- 美術工芸品、水に弱い繊維（絹、アセテート、レーヨン、キュプラなど）、水に弱い製品（毛皮、皮革製品、和装品、白木の家具、ニス塗りの木製品、漆器など）、傷つきやすい面（フローリング、テーブルなど）、たたみには使用できません。
- 水を入れた状態で本体を傾けたり、落としたりしないでください。水がこぼれて床がぬれる原因になります。
- 回収タンクの泡立ちが多く、満水水位線を超える場合は、直ちに運転を停止し、汚水をこまめに捨ててください。故障の原因になります。
- 洗剤を使用する場合は、発泡性の低い使用可能な洗剤を20倍程度に希釈し、**洗淨対象に塗布**してご使用ください。
- 洗剤を使用する場合は、事前に洗淨物に影響のないことを確認した上でご使用ください。
- 本体を毛足の長いカーペットなどにおくと、排気口をふさぎ、運転が停止するおそれがあります。

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

- | | | |
|-------------------|----------------------|-----------------------------|
| ・ 乾いたほこりなど | ・ 多量のごみ | ・ 大きなごみ |
| ・ 多量の粉（消火器の消火剤など） | ・ 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど | ・ ビニール袋やストッキングなど内部に詰まりやすいもの |
| ・ 多量の砂、小石など | | |

機械の故障を防ぐために

- 乾いたほこりなどの吸引を行わないでください。本製品のバキュームは湿式のため、故障の原因になります。
- 寒冷地では、作業終了後は必ず回収タンク内、清水タンク内、バキュームホース内、ハンドツール内の残水を排出し、凍結しない場所に保管してください。凍結により損傷することがあります。
- 吸引中、バキュームホース内に回収物が詰まった場合は、直ちに電源スイッチをオフにして詰まりを解消させてください。
故障の原因になります。

安全装置について

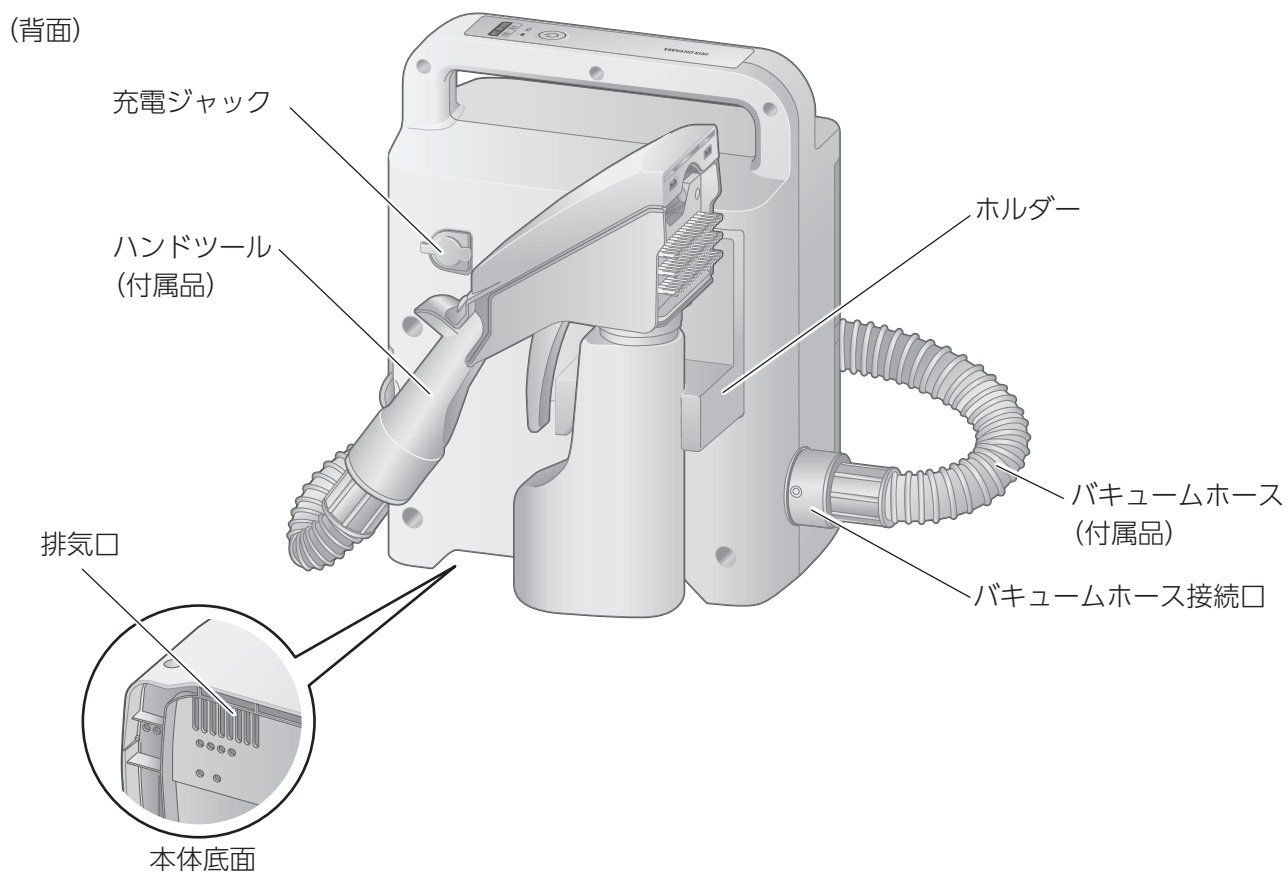
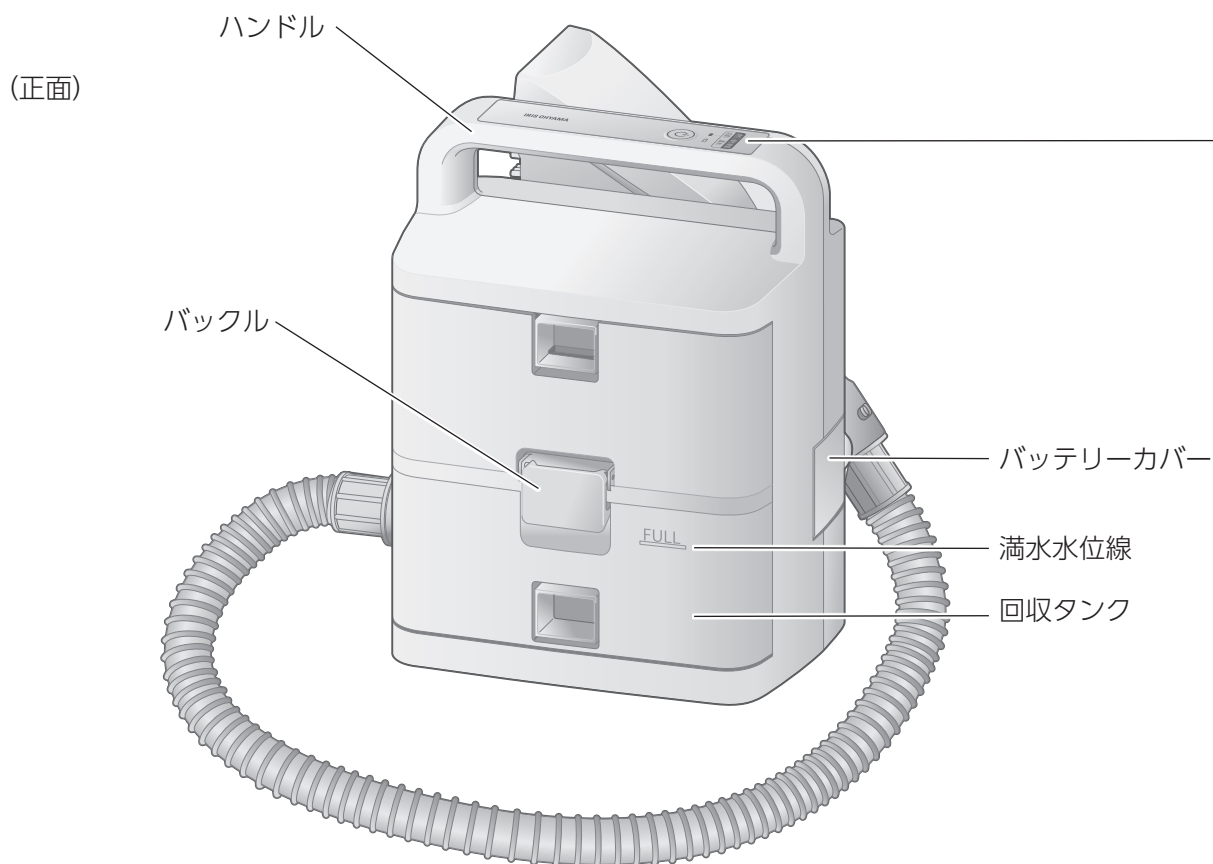
- 傾いたとき（20°以上）や、振動がある環境の場合、本体内部に水が入らないように傾きセンサーが検知して運転を停止します。（傾斜時安全装置）
傾斜時安全装置が働いたときは、水平に近い状態にして、電源スイッチを押して電源を入れなおしてください。
- 回収タンク内の水が満水水位線まで達すると、満水センサーが働いて運転を停止します。（満水時安全装置）
満水時安全装置が働いたときは、回収タンク内の水を捨てて、回収タンクを取り付けた状態で、電源スイッチを押して電源を入れなおしてください。

廃棄について

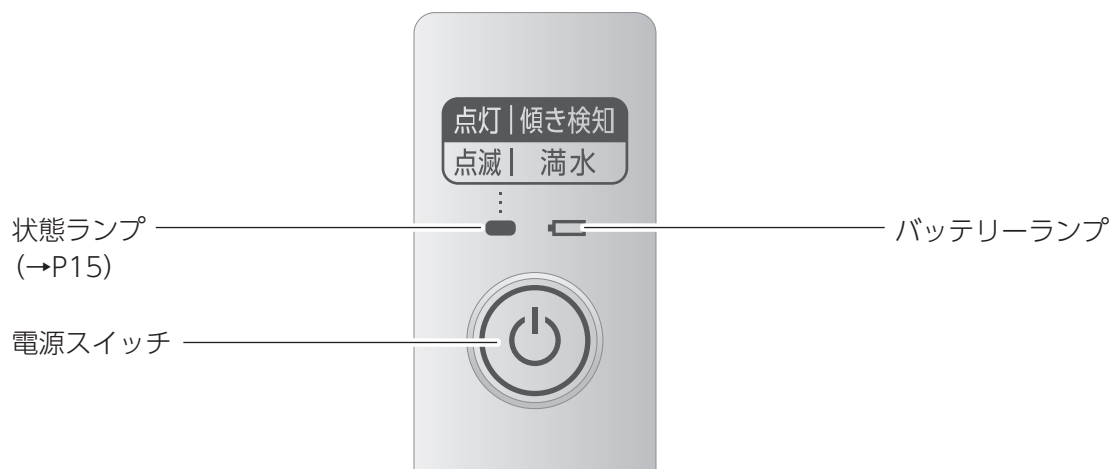
- 製品を廃棄する場合は、バッテリーを取り外し、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

本体

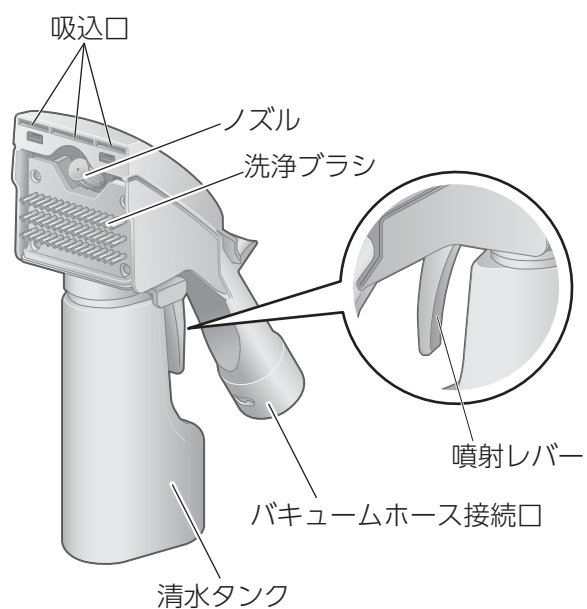


操作パネル

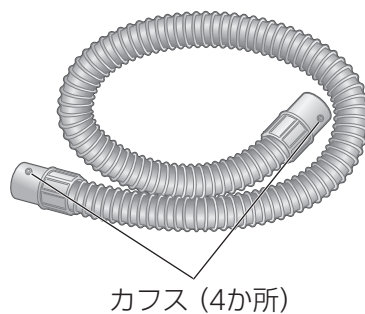


付属品

ハンドツール



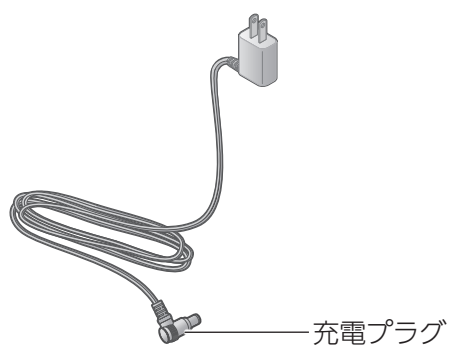
バキュームホース



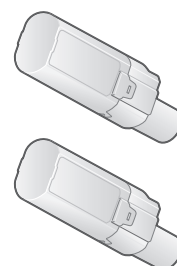
清掃ブラシ



充電アダプター



バッテリー×2



準備する

—充電—



注意

- カーペットの上など不安定な場所に置かないでください
 - フローリングなど、硬い安定した床の上に置いてください
- 万一人がぶつかって倒れたりした場合は、けがや周囲の物品破損の原因になります。

① お願い

- バッテリーは、購入時点では十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。充電完了までにかかる時間は、約4時間です。

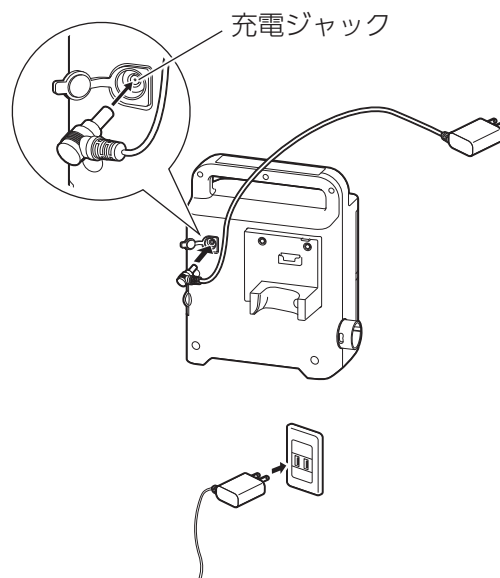
1

本体背面にある充電ジャックのキャップを外し、充電ジャックに充電プラグを差し込む



ポイント

バッテリーは別売品の急速充電器 (KBC-10820-B) でも充電可能です。



2

充電アダプターをコンセントに差し込む

点灯

3

バッテリーランプが赤色に点灯し、充電が開始される

4

充電が完了すると、バッテリーランプが消灯する

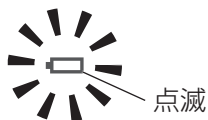
消灯

5

充電アダプターをコンセントから抜き、充電プラグをジャックから外してキャップを閉める

使用時のバッテリー残量について

- ・バッテリー残量が少なくなると、バッテリーランプが点滅してお知らせします。



点滅

バッテリーランプ	バッテリー残量
ゆっくり点滅	少ない
消灯	残量なし

- ・ランプが点滅したら充電してください。



ポイント

充電時にバッテリーが入っていないと、状態ランプとバッテリーランプが点滅します。バッテリーを入れてから充電してください。

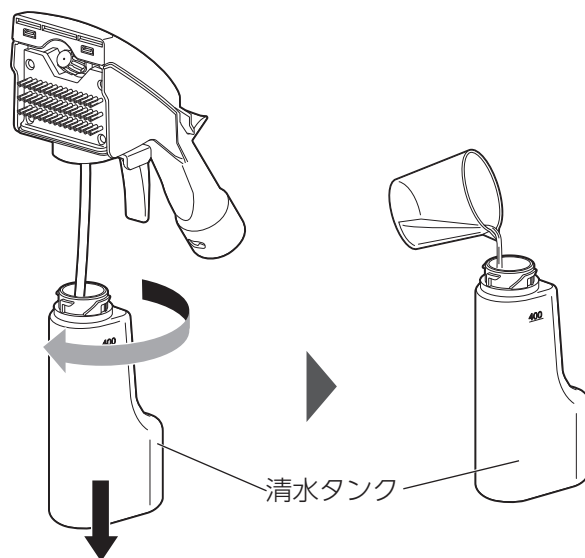
準備する

ーハンドツールー

1

ハンドツールについている清水タンクを外し、水道水を入れる

- ・容量は約400mLです。

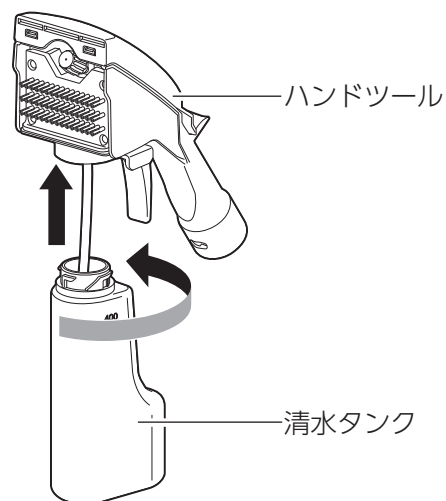


注意

- 清水タンクに水道水またはアルカリイオン水以外を入れないでください。故障の原因となります。
- 清水タンクの水は使用後に必ず捨ててください。水が入ったまま保管すると、水もれやかびの原因となります。

2

清水タンクをハンドツールに取り付ける



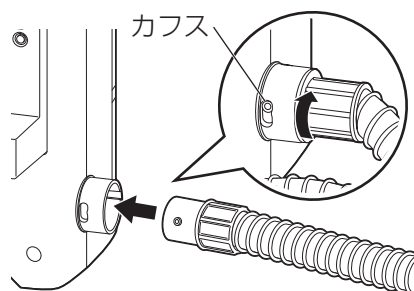
注意

- 清水タンクは確実に取り付けてください。
- 清水タンクに水を入れた状態で逆さにすると、水がもれる可能性がありますので逆さにしないでください。

3

バキュームホースを接続する

- ・本体のバキュームホース接続口に差し込み、時計回りにカフスを回してロックしてください。

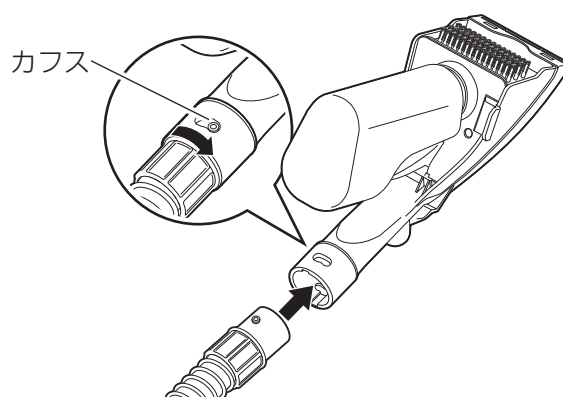


つづく→

4

ハンドツールを接続する

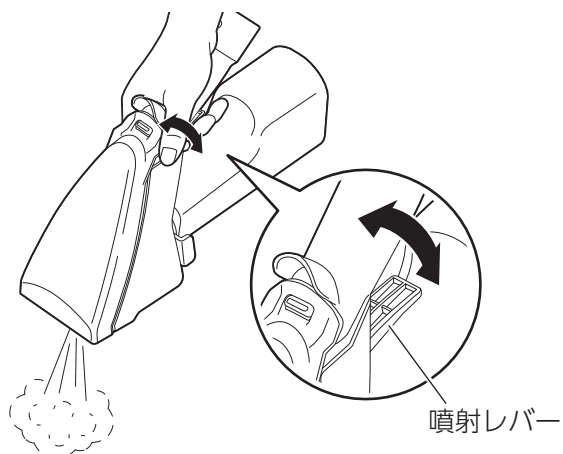
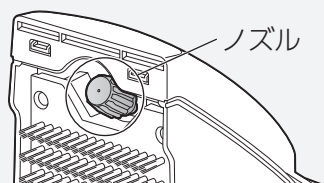
- 本体と接続したバキュームホースのもう一方にハンドツールを差し込み、時計回りにカフスを回してロックしてください。



5

ハンドツールを持ち、先端のノズルを下方に向けて噴射レバーを数回握る

- ノズルから正しく噴霧されるようになったらエア抜き完了です。
- 噴射口のノズルを回すと、直射と霧吹き切り替えができます。
- 時計回りに最後までしめると、ロックして噴霧されません。

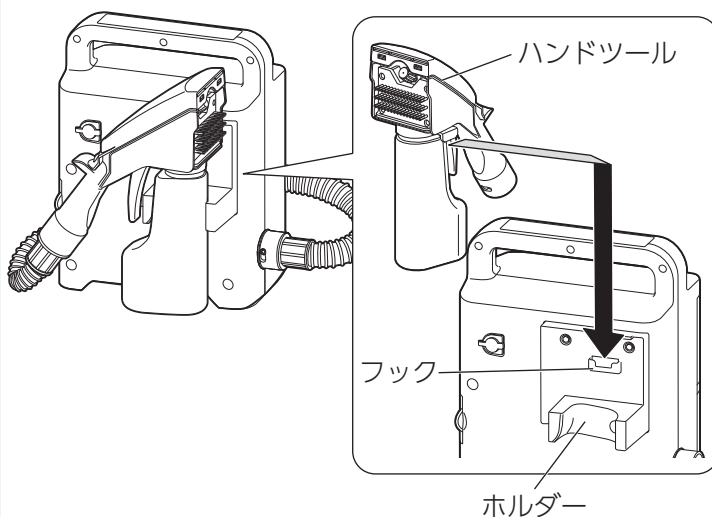


噴射	直射	霧吹き	ロック
	緩める	しめる	最後までしめる
ノズル			
状態			
			噴霧なし

6

持ち運ぶ際は、ホルダー・フックに固定する

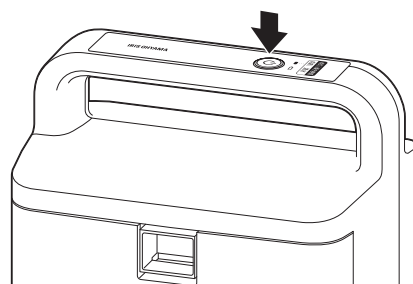
- ホルダー・フックにハンドツールを固定してください。



使いかた

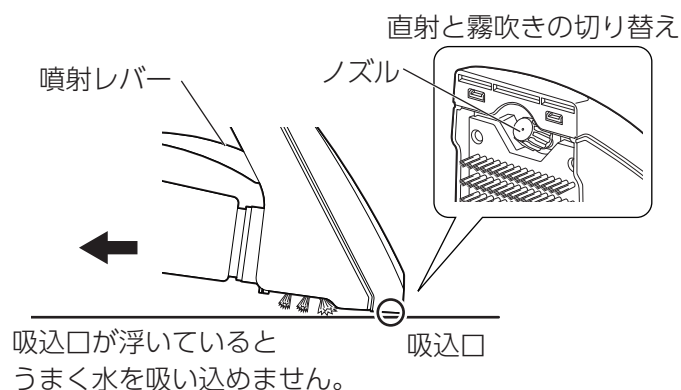
1 電源を入れる（運転開始）

- ・電源スイッチを押し、電源を入れてください。
- ・本体が傾いているときは、状態ランプ（→P7、15）が点灯してお知らせします。水平に近い状態にして電源を入れなおしてください。



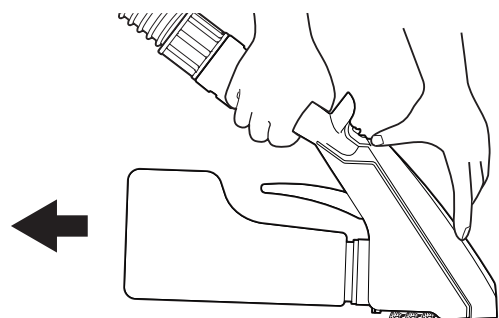
2 噴射レバーを引き、清水を散布してから水分を吸い取る

- ・吸込口を汚れに軽く押しつけながらハンドツールを手前に引いてください。
- ・噴射レバーを放した直後は、しずくが垂れることがあります。
- ・同じ場所に連続して水を散布せず、水散布後はすみやかに水分を吸い取ってください。生地奥まで水が染み込むと水分が残り、かびやにおいの原因となります。
- ・噴射口のノズルを回すと、直射と霧吹き切り替えができます。



3 清水を出さずに残った水分をよく吸い取る

- ・吸込口が水平になるように汚れに押しつけながらゆっくり手前に引き、よく水分を吸い取ってください。回収タンク内に汚れた水がたまります。
- ・回収タンク内の水が満水水位線まで達すると、自動停止して状態ランプ（→P7、15）が点滅してお知らせします。回収タンク内の水を捨てて、回収タンクを取り付けた後、電源を入れなおしてください。



ポイント

水分が残りやすい生地に使用した後は、扇風機などで風をしばらく当て、よく乾燥させてください。水分が多く残っていると、かびやにおいの原因となります。

4 電源を切る（運転停止）

- ・電源スイッチをもう一度押し、電源を切ります。
- ・電源を切った時に、ハンドツールから少量の水が逆流する場合があります。ハンドツールを上に向けて、残っている水を吸った後、電源を切ってください。

5 回収タンク・清水タンクを空にし、バキュームホース、ハンドツールを取り外して保管する

- ・保管前にお手入れをおこなってください。（→P16）

使いかた つづき

汚れのひどいときは

落ちにくい汚れや、染みついた汚れは、洗浄剤などで汚れを浮かせてから洗浄すると効果的です。



注意

- 清水タンクに洗浄剤を入れないでください。
- 洗浄剤を使用するときは、端の部分などで試してから、変色などの問題がないことを確認したうえでご使用ください。
- 洗浄剤は混ぜて使用しないでください。
- シンナー、ベンジン、塩素系漂白剤や引火性のある溶質、溶媒は絶対に使用しないでください。変色や故障、火災の原因になります。

おすすめ

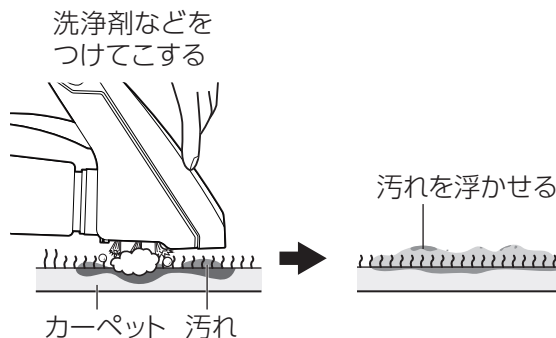
- ・ 強アルカリイオン水
 - ・ 重曹
 - ・ クエン酸
 - ・ 次亜塩素酸水
 - ・ アイリス製リンサークリーナー用洗剤
- 発泡性の低い洗浄剤などです。

適さない

- ・ 台所用中性洗剤
 - ・ 強アルカリ性洗剤
 - ・ 強酸性洗剤など
- 発泡性の高い洗剤などは、クリーナー内部に泡が浸入するおそれがあります。

1

カーペットに洗浄剤などをつけ、
ハンドツールの洗浄ブラシなどで、
こすって汚れを浮かせる



注意

- お使いになる洗浄剤の分量や用法については、洗浄剤の使用法、注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

2

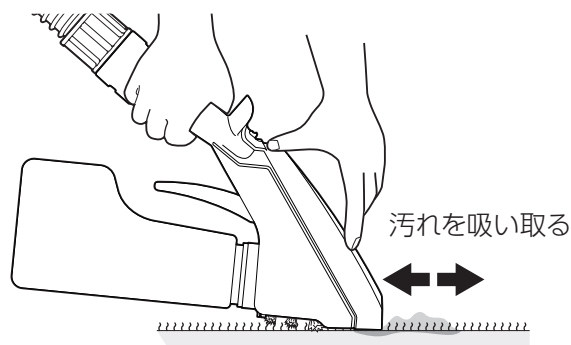
汚れを吸い取る

- ・ 準備する (→P9) にしたがって水道水を清水タンクに入れ、使いかた (→P11) にしたがって汚れを吸い取ってください。
- ・ 洗浄剤などが残らないように、しっかり吸い取ってください。



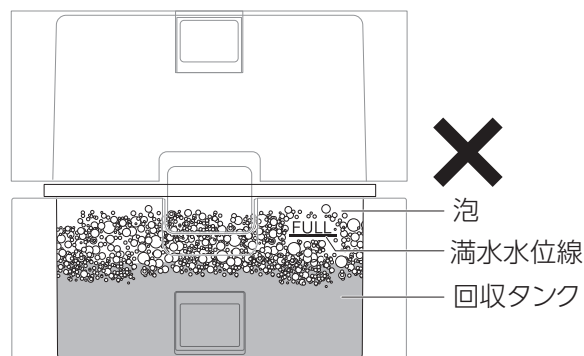
ポイント

40℃以下のお湯を入れると効果的です。



注意

- 回収タンク内の泡立ちが多く満水水位線を超える場合は、運転を停止してください。本体内部に水滴が入るおそれがあります。



泡
満水水位線
回収タンク

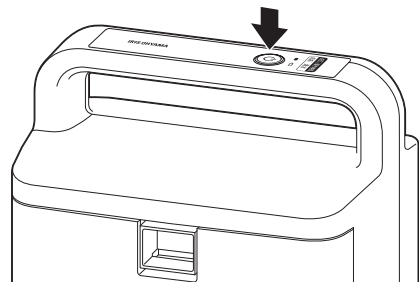
回収タンクの汚水を捨てる

1

■回収タンクが満水ではない場合
電源を切る

■回収タンクが満水の場合

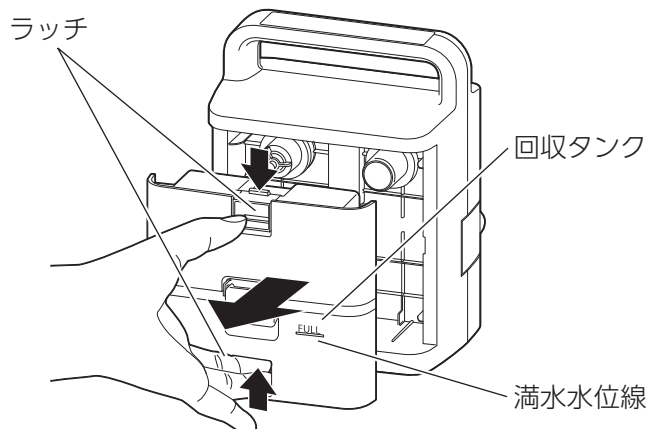
- ・回収タンクの汚水が満水になると、状態ランプ（→P7、15）が点滅してお知らせし、モーターが停止します。



2

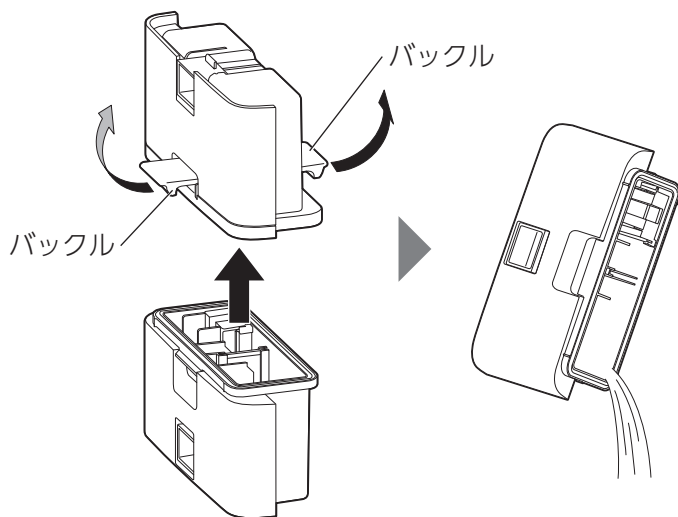
回収タンクを外す

- ・回収タンクを固定している2か所のラッチを上下から挟み込むようにしてつまみ、本体前方に引き抜くようにして取り外してください。



3

回収タンク両側のバックルを外し、回収タンク内の汚水を捨てる



4

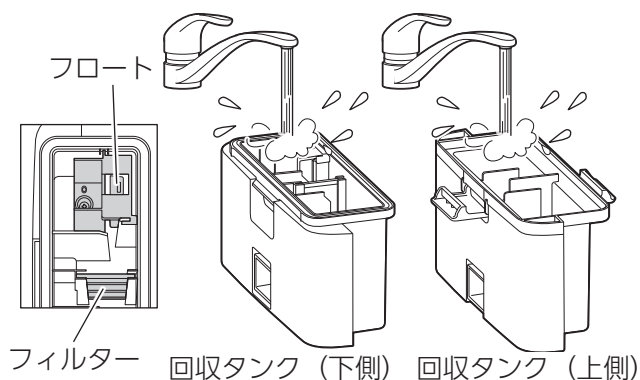
作業終了後は回収タンクをすすぐ

- ・作業終了後は回収タンクの開口部から水道水などですすいでください。



注意

- フィルター、フロート周辺をよくすすいでください。満水時安全装置が正常に働かなくなるおそれがあります。
- 回収タンクやバキュームホース内部にたまった汚泥を放置すると、微生物や菌が発生・繁殖し、にいいの原因となるおそれがあります。



つづく→

5

バックルをしめ、本体に回収タンクを取り付ける

- バックルはしっかりしめてください。
水もれのおそれがあります。

- 回収タンクはカチッとなるまで押し込んでください。



注意

- 回収タンクが正しく取り付けられていないと回収能力の低下につながります。

- 汚水は満水水位線を超える前に捨ててください。満水水位線を超えて、使用を続けた場合、満水時安全装置が働き、吸い込みできなくなります。
満水時安全装置が働いた場合も、水を捨ててください。



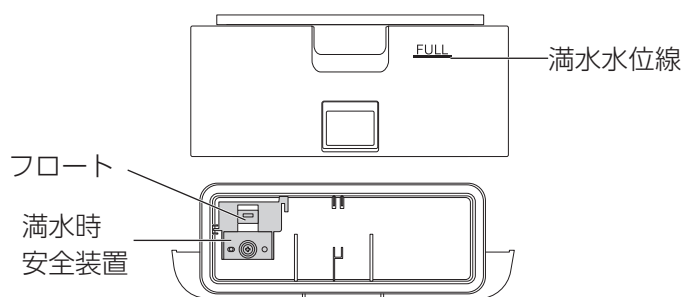
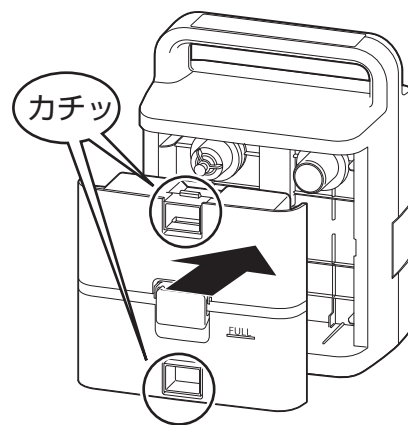
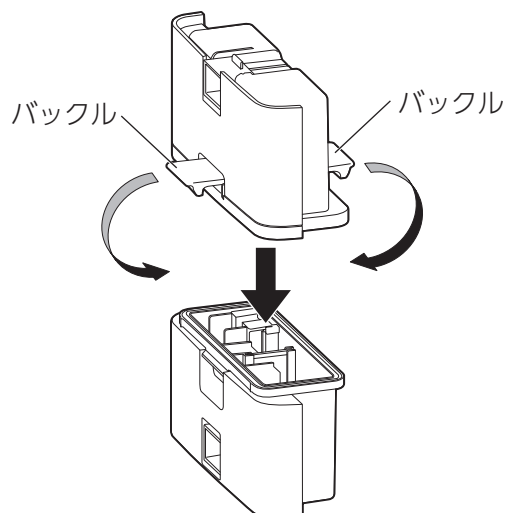
ポイント

気泡などにより満水になる前に満水時安全装置のフロートが動作する場合があります。



注意

- 本体内部に水が浸入した場合、ハンドツール、バキュームホース、回収タンクを取り外し、空運転してください。

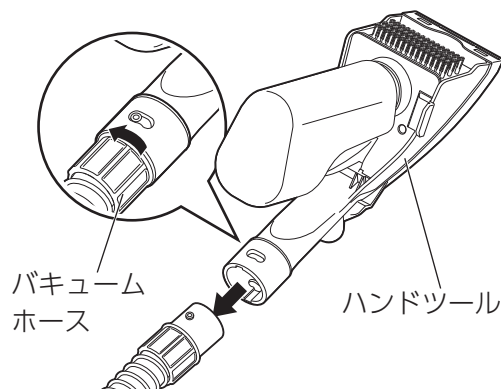


清水タンクに残った水を捨てる

1

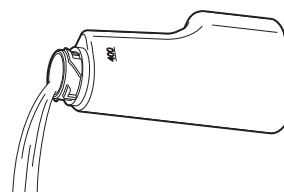
ハンドツールからバキュームホースを反時計回りに回して外す

- バキュームホース内部に残水がある場合は残水によるもれに注意してください。



2

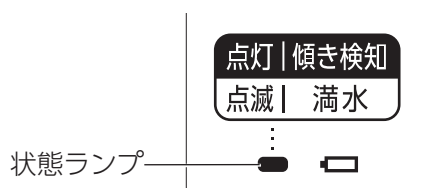
清水タンクを外して中の水を捨てる



取り扱い
かた

状態ランプについて

- 本体が傾いた時にモーター吸気口から水を吸わないよう自動停止し、ランプが点灯します。(傾斜時安全装置)
- 回収タンク内の水が満水になると、モーター吸気口から水を吸わないよう自動停止し、ランプが点滅します。(満水時安全装置)



状態ランプ	状態
点灯	傾きを検知 (傾斜時安全装置)
点滅	満水を検知 (満水時安全装置)



ポイント

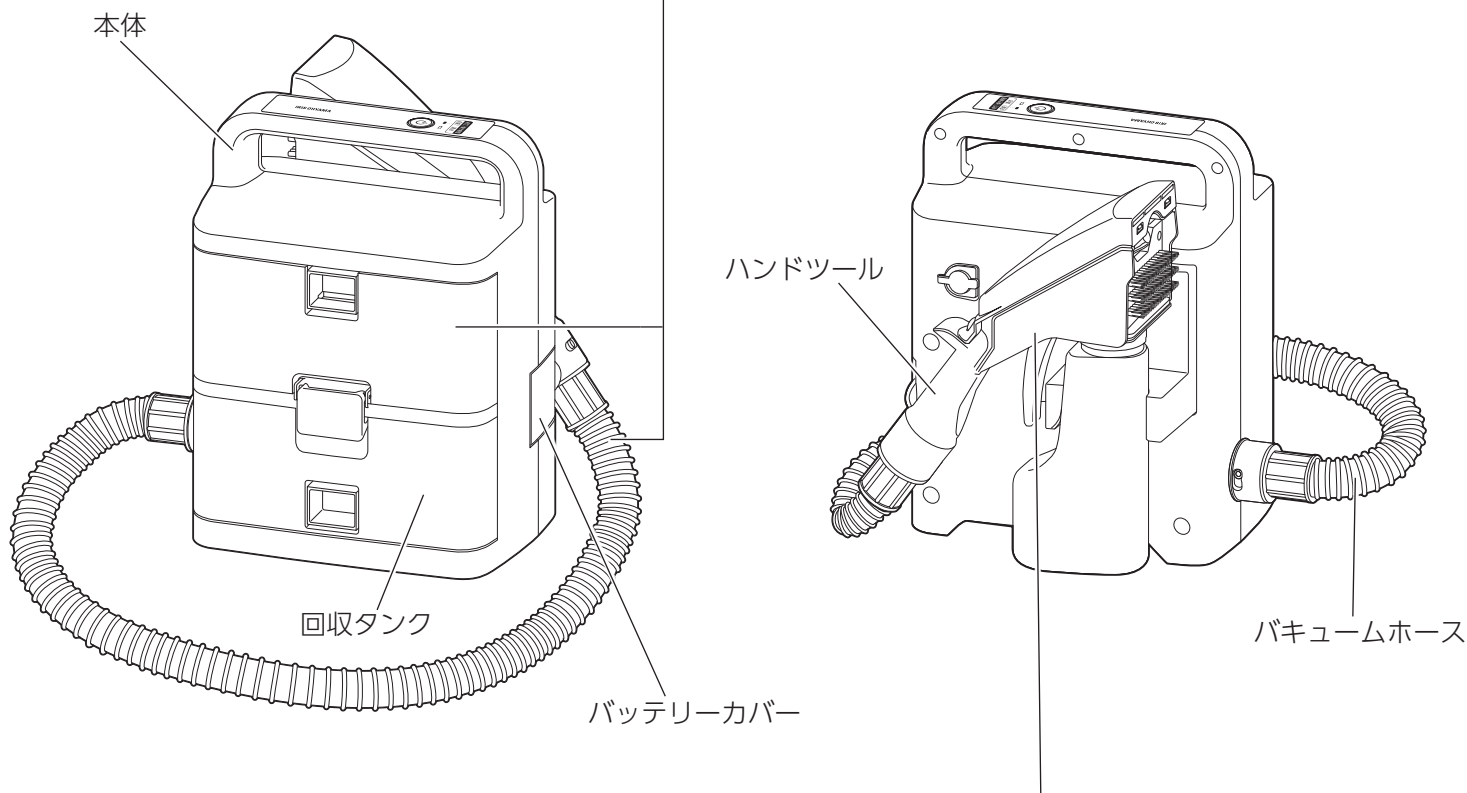
充電時にバッテリーが入っていない場合、状態ランプとバッテリーランプが点滅します。
バッテリーを入れてから充電してください。

お手入れ



- お手入れは、必ず運転を停止して行ってください。
- 本体・充電アダプターには、水をかけないでください。火災・感電・故障の原因になります。

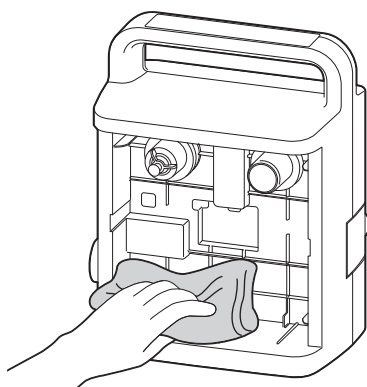
- シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。



本体

汚れたとき

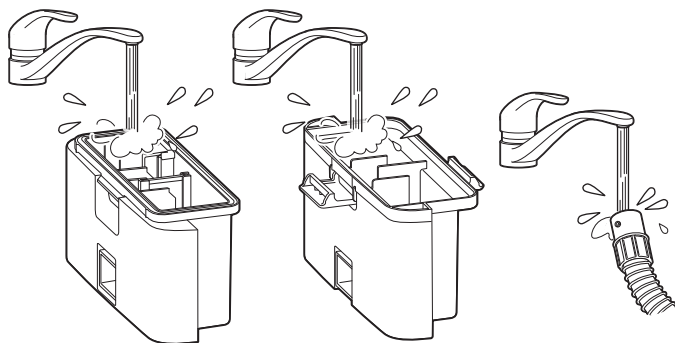
- ・水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をかたくしぼって、汚れを拭き取ります。
- ・汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように、かたくしぼった布などで水拭きしてください。



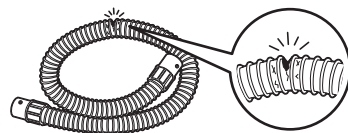
回収タンク・バキュームホース

毎使用後

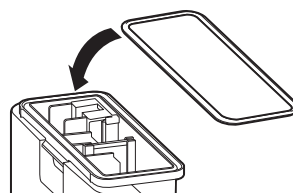
- 本体から取り外し、水洗いして十分に乾かしてください。
- ホースの片側を水道の蛇口に近づけて、水を注いでホース内部を洗ってください。
- バキュームホースに穴が開いていないか確認してください。



回収タンク（下側） 回収タンク（上側） バキュームホース



- タンクパッキンを外してお手入れをした場合、セットするときはよじれないように注意してください。

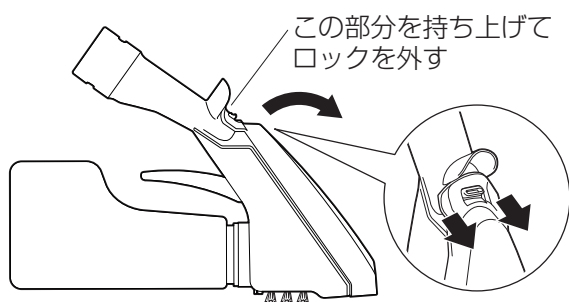


ハンドツール

毎使用後

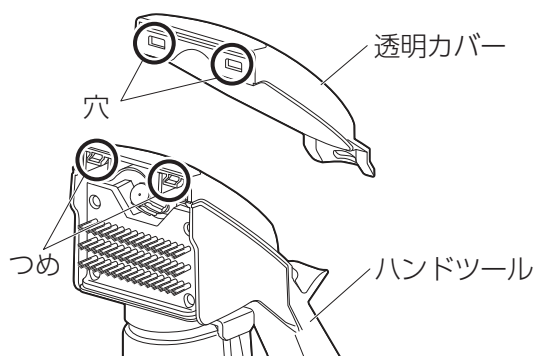
- 本体から取り外し、水洗いして十分に乾かしてください。
- ハンドツールは、吸込口の透明カバーを外してから水洗いしてください。

<透明カバーの取り外しかた>

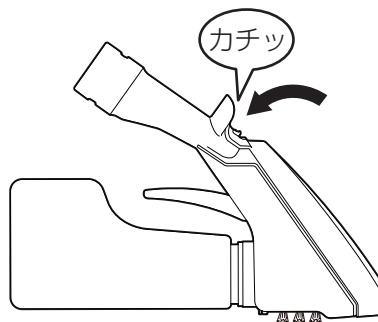


<透明カバーの取り付けかた>

① つめに穴を合わせてひっかける



② カチッと音がするまで押し込み、確実に取り付ける



お手入れ つづき

ハンドツールのノズル

ごみがつまったら

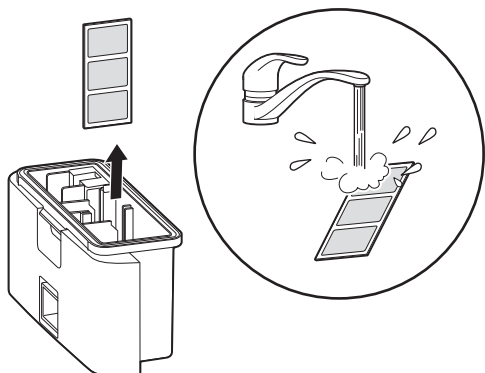
- ノズルに何か詰まっていれば、ノズルを反時計回りに回転させて外してから、洗浄してつまっているものを取り除いてください。



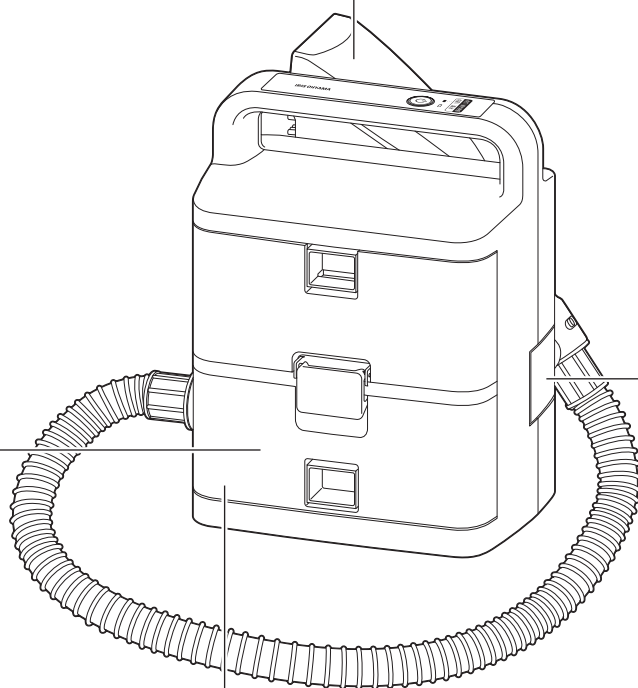
フィルター

ごみがつまったら

- フィルターに何か詰まっていれば、洗浄または交換してください。



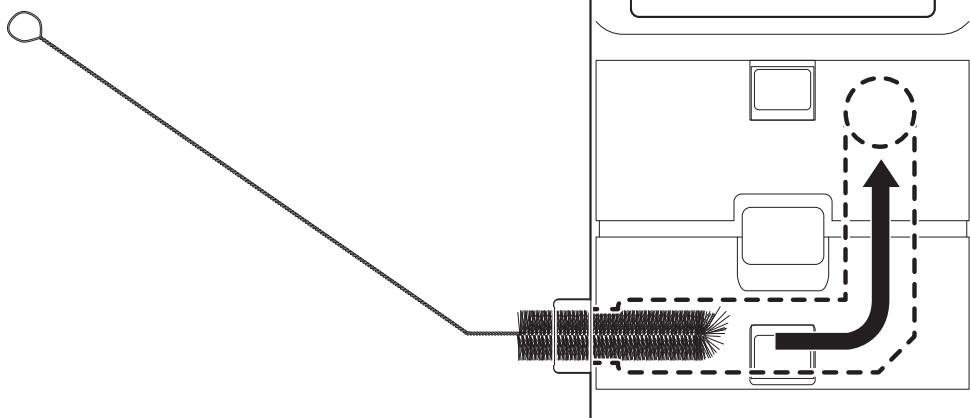
- 水洗いをした場合には、フィルターを風通しのよい日陰などで、十分に乾燥させてから装着してください。
- お手入れした後は、必ずフィルターを装着してください。



流路の清掃について

毎使用后

- バキュームホース接続口から清掃ブラシを入れ、流路を清掃してください。
- 少し曲げてから使うと、流路のコーナーの奥まで清掃ブラシが届きます。



保管について

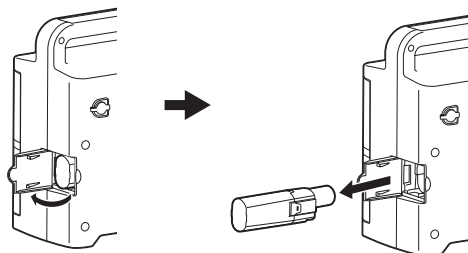
- 本体を保管する際は回収タンクと清水タンクの水を必ず捨ててください。
- 氷点下になるような場所に保管しないでください。
- 乾燥した場所に保管してください。

バッテリーの交換のしかた

正しく充電しても運転時間が著しく短くなったときは、バッテリーを新しいものに交換してください。
バッテリー（別売品）の購入についてはP23を参照してください。

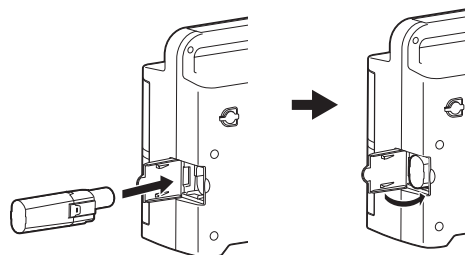
● バッテリーの取り外しかた

本体側面にあるバッテリーカバーを開けて、
バッテリーを引き抜く



● バッテリーの取り付けかた

バッテリーを奥まできちんと押し込み、バッテリー
カバーを閉じる



※ 取り外した使用済みバッテリーは、端子部分を
テープで絶縁し、リサイクル協力店にお持ちくだ
さい。一般家庭ごみとして捨てないでください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ



注意

- バッテリーを取り付けたり、取り外す際は、
指をはさまないようご注意ください。

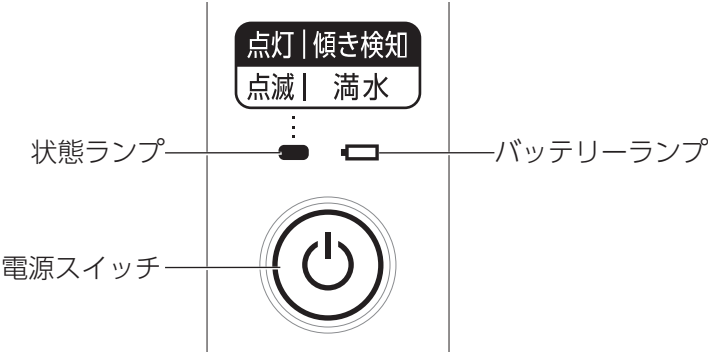
故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	原因・処置
電源が入らない（動作しない）	バッテリーが消耗していることが考えられます。本体を充電アダプターにつないで、充電してください。（→P8）
	モーターが過熱して、保護装置が働いています。モーターが放熱するのを待ってから、使用してください。
	本体が傾いていたり、振動していて傾斜時安全装置が働いていることが考えられます。水平に近い状態にして、電源を入れてください。
	回収タンクが満水になっていることが考えられます。回収タンクの水を捨てて、回収タンクを取り付けた状態で、電源を入れてください。
ハンドツールのノズルから水が噴射されない、もしくは噴射量が少ない	ノズルが詰まっていませんか。ノズルの清掃をしてください。（→P18）
	噴射レバーが破損していることが考えられます。修理専用コールへご相談ください。
吸引しない、もしくは吸引力が弱い	回収タンクを正しく取り付けてください。（→P14）
	満水時安全装置のフロートが動作しています。回収タンクの水を捨ててください。（→P13）
	バキュームホースに割れ・潰れ・折れ・詰まりなどがないか点検してください。
	バッテリーの残量が少なくなっていないですか。本体を充電アダプターにつないで、充電してください。
充電しても運転時間が短い	室温が低すぎる場所や高すぎる場所で充電すると、正常に充電できないことがあります。5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
	バッテリーが寿命に達していることが考えられます。正しく充電しても運転時間が著しく短くなったときは、バッテリーを新しいものに交換してください。（→P19）
充電されない	充電アダプターをコンセントに確実に差し込んでください。
	本体背面の充電ジャックに、充電プラグを確実に差し込んでください。
充電時、バッテリーランプが消えない	室温・運転時間などにより充電時間が長くなる場合があります。 ・5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。 ・5時間以上充電してもバッテリーランプが消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールへご相談ください。
充電時、状態ランプとバッテリーランプが点滅する	バッテリーが入っていません。バッテリーを入れて充電してください。
充電中、本体や充電アダプターが温くなる	充電電流が流れているため、バッテリーや回路が少し発熱しますが、異常ではありません。
使用中、本体が温くなる	バッテリーやモーターの発熱のため、本体が少し温くなりますが、異常ではありません。

状態	原因・処置
電源が切れた	本体が傾いたり、振動により、傾斜時安全装置が働いていることが考えられます。水平に近い状態にして、電源を入れなおしてください。
	回収タンクが満水になっていることが考えられます。回収タンクの水を捨てて、回収タンクを取り付けた状態で、電源を入れなおしてください。
	バッテリー切れです。本体を充電アダプターにつないで、充電してください。

操作パネルの点灯、点滅パターン



状態ランプ／バッテリーランプ	状態	原因・処置
点滅 消灯	満水センサー検知 (満水時安全装置)	回収タンクが満水になっていることが考えられます。回収タンクの水を捨てて、回収タンクを取り付けた状態で、電源を入れなおしてください。
点灯 消灯	傾きセンサー検知 (傾斜時安全装置)	本体が傾いたり、振動により、傾斜時安全装置が働いていることが考えられます。水平に近い状態にして、電源を入れなおしてください。
点滅 点滅	充電時のバッテリー 入れ忘れ	バッテリーが入っていません。バッテリーを入れて充電してください。
交互に点滅	充電アダプター異常	充電アダプターの異常です。充電アダプターを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

警告 ●ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

こんなときは

仕様

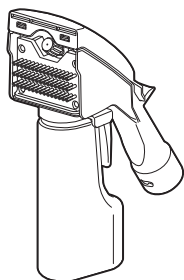
充電温度		5 ～ 35℃
連続使用時間※1		約10分
バッテリー		リチウムイオン2次電池
バッテリー容量		1,900mAh
バッテリー寿命		繰り返し充電 約1,000回
定格電圧		DC10.8V
充電電源 (充電アダプター)	入力	AC100-240V、50 / 60Hz
	出力	DC13.7V、0.5A
充電時間		約4時間（室温・使用時間などにより充電時間が長くなる ことがあります。）
吸込仕事率		約20W
回収タンク有効容量		0.4L（使用条件により変動します。）
清水タンク容量		0.4L
バキュームホース長さ		φ19mm（内径）×960mm
お湯使用温度		約40℃まで
製品寸法（本体寸法）		幅233×奥行213×高さ277mm
製品質量（ホース、ハンドツール含む）		2.4kg
付属品		ハンドツール、バキュームホース、清掃ブラシ、 バッテリー×2本、充電アダプター

※1 満充電、バッテリー初期温度：20℃

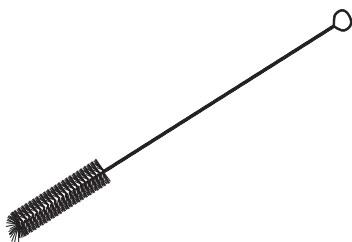
※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

別売品・消耗部品について

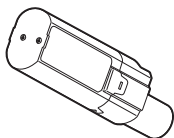
ハンドツール
(別売品)



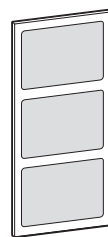
清掃ブラシ
(消耗部品)



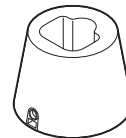
バッテリー
(消耗部品)
CBL10820



フィルター
(消耗部品)



急速充電器
(別売品)
KBC-10820-B



別売品・消耗部品についてはお買い上げの販売店またはアイリスプラザ
(<https://www.irisplaza.co.jp>) でお買い求めください。



保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、
ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用のコードレスリンサークリーナーの点検を！

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- ボタンを押しても、運転しないときがある
- 充電アダプター・充電コードが異常に熱くなったり、変色したり、焦げくさいにおいがする
- 充電コードに破れがある
- 運転中に異常な音や振動がする
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、充電アダプターを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

コードレスリンサークリーナー 型番RNSK-B400D

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間	
年 月 日				ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前			※ 販売店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話 () -				
			電話 () -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

お客様サポート

24時間365日
Web即時回答サービス



専用パーツのご購入

アイリスオーヤマ
公認通販サイト



製品に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

アイリスコール 0120-311-564

9:00～17:00 (年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関する
お問い合わせ
(通話料無料)

修理専用コール 0800-170-7070

9:00～17:00 (年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。